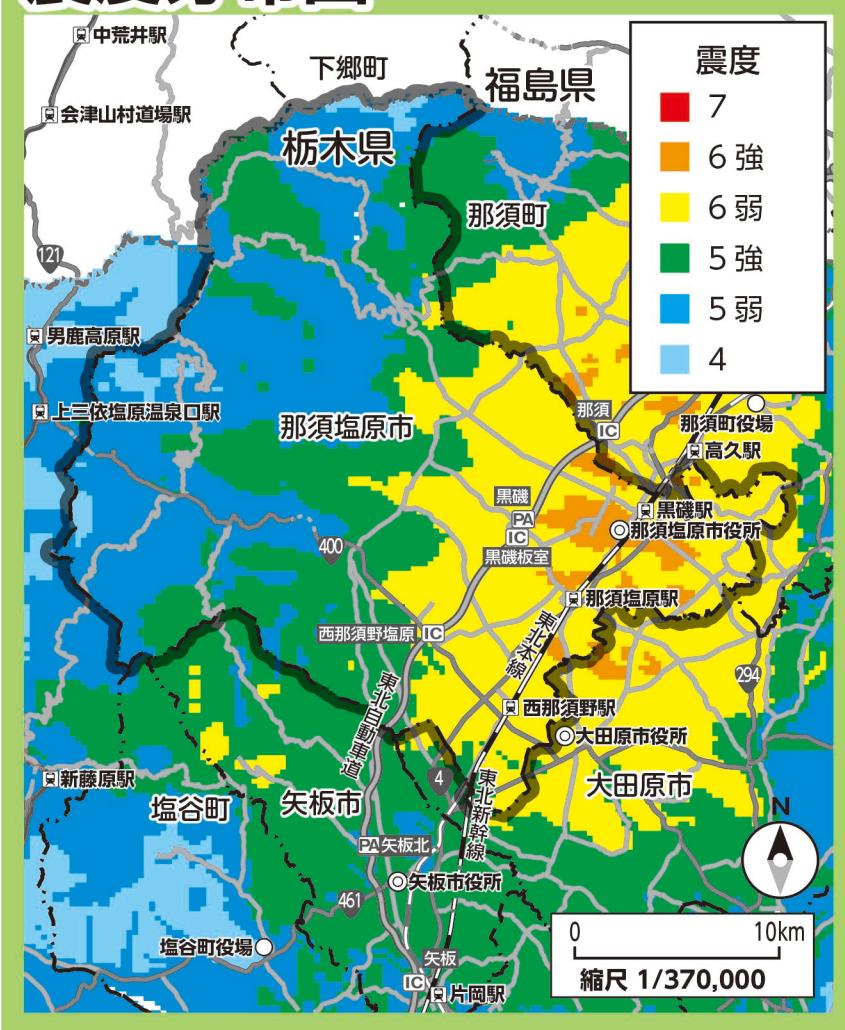


揺れやすさマップ

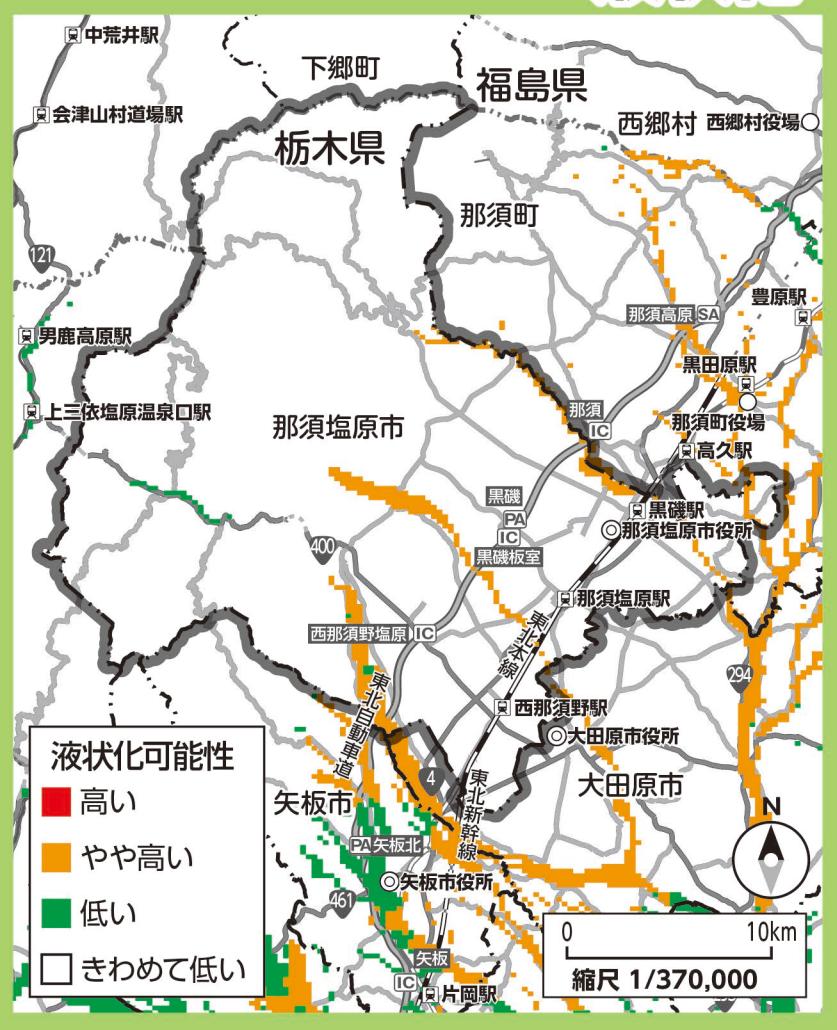
この地図は栃木県が行った地震被害想定調査において、震源地を那須塩原市直下、関谷断層直下と想定した場合の震度分布、液状化の可能性を表示したものです。

震度分布図

那須塩原市直下に想定した地震

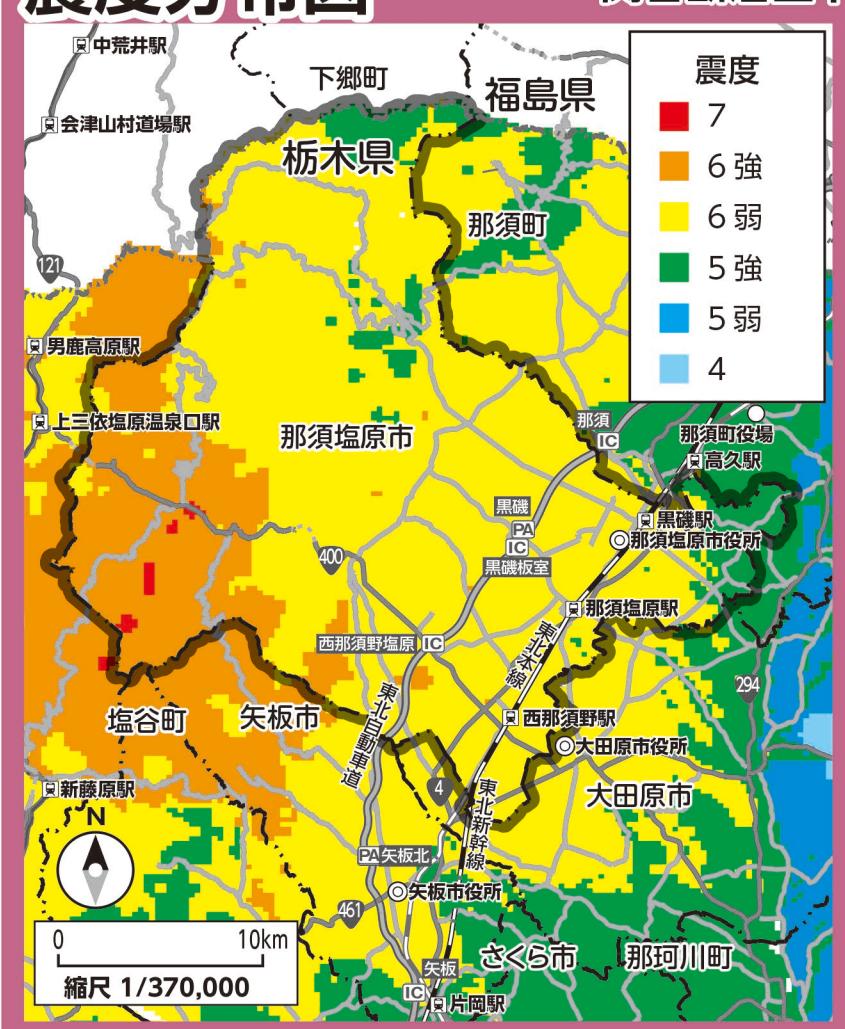


液状化

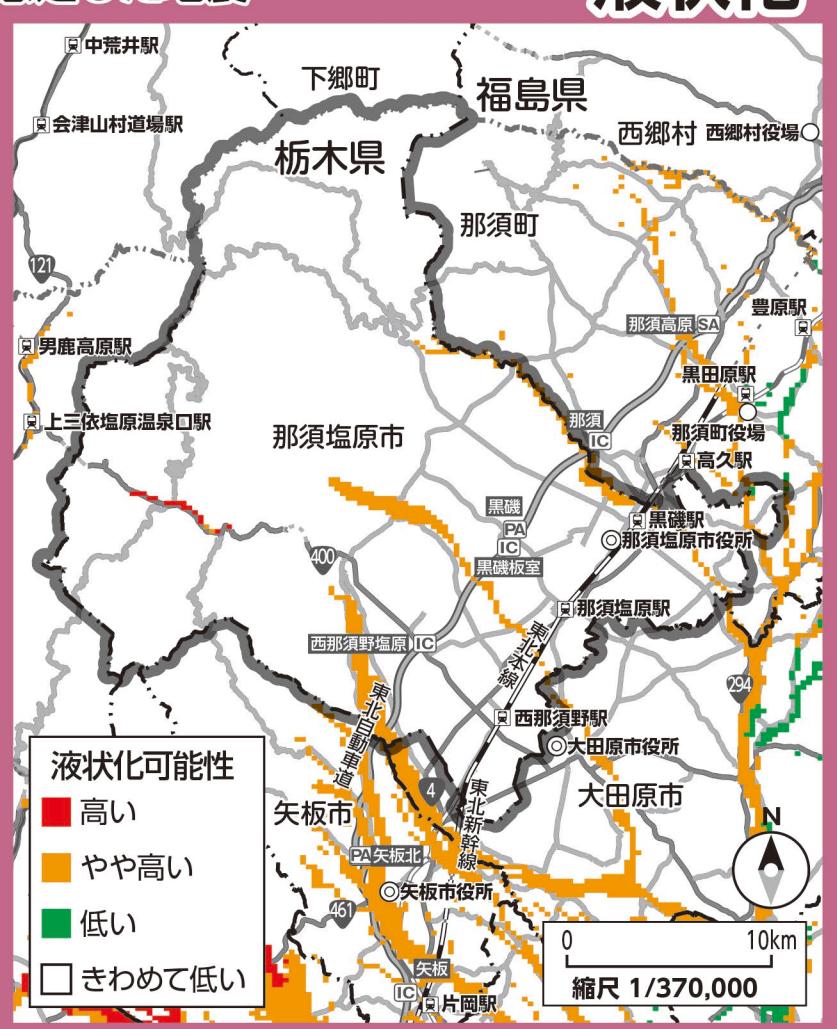


震度分布図

関谷断層直下に想定した地震



液状化



地震対策

地震災害には、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などがあります。建物の倒壊や土砂崩れなどによって道路が通れなくなる交通障害や、線路の安全確認により電車が動かなくなる場合もあります。また停電や断水が起こる場合もあり、電話やインターネットもつながりにくくなります。

地震災害は広範囲で被害が発生するため、行政や消防・警察などの救助・救援が遅れる可能性があります。過去の大規模な地震災害で建物の下敷きになった人々の多くを助け出したのは、家族や近所の人たちでした。身の安全を確保したら、地域や隣の人々と協力して助け合うことも重要です。

地震のときの行動は？

地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなどで正確な情報の把握に努めましょう。

地震発生

1~2分

3分

5分

10分
数時間
3日

最初の大きな揺れは約1分間

- あわてずに身の安全を確保する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | | |
|-----------------|--------------|---------------------------------|
| ● 隣近所に声をかけよう | ● 要配慮者の安全確保 | ● 隣近所で助け合う |
| ● 行方不明者はいないかの確認 | ● 余震に注意 | ● ケガ人はいないかの確認 |
| ● 消火器を使う | ● 漏電・ガス漏れに注意 | ● 電気のブレーカーをおろす・ガスの元栓を閉める |
| ● 停電復旧時の火災に注意 | ● 建物の倒壊に注意 | ● 使用中の電気機器のスイッチを切る・電気のブレーカーをおろす |



テレビ・スマートフォン・ラジオなどで正しい情報を

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないようにする
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報の収集
- 壊れた家に入らない
- 近くの人の救出・救護

屋内にいる場合

家中

- 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる
- 火の確認はすみやかにする（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）
- 高齢者や病人、乳幼児など要配慮者の安全を確保する
- 裸足で歩き回らないようにする（ガラスの破片などでケガをする）

大規模店舗や集客施設にいるとき

- つり下がっている照明などの下から避難する
- あわてて出口や階段に殺到しない

エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

屋外にいる場合

路上

- ブロック塀や自動販売機には近づかず、ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意する。頭をカバンなどで保護する



車を運転中

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず徐々に速度を落とす
- 避難するときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない
- 車検証などの貴重品を忘れずに持ち出す
- 山やがけ付近にいるとき
- 落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる